

特別演奏会

外山 雄三

森羅万象 (新作初演)
子供合唱と打楽器群による

山川 あをい

UTA Nr.2 marimba duo,改訂版

UTA Nr.6 marimba quartet

賛美歌 前奏曲 海行かば 春の小川

Harry Breur; Back Talk. Happy Hammers. Powder Puff

Sammy Herman; Dizzy Fingers, Ketten on he Keys

Thomas Gauger; Round Trip

他

特別客演

猪俣 猛

出演

鈴木 優子 服部 恵 竹内 将也

有賀 誠門

子供合唱隊

2022年6月3日(金) 18:00開演 17:30開場

旧東京音楽学校奏楽堂

主催：有賀誠門 UP Project

チケット受付メールアドレス：upproject20220603@gmail.com

チケット受付電話番号：090-3516-8951 (甲田)

3,000円
全席自由



外山 雄三 作曲

1931年東京生まれ。東京音楽学校(現在の東京芸術大学)で作曲を学び、在学中、「クラリネット、ファゴット、ピアノのための〈三つの性格的断片〉」で第20回音楽コンクールに入賞。1952年卒業と同時にN響に打楽器練習員として入団。1954年には指揮研究員となり、1956年9月にN響を指揮してデビュー、以来各オーケストラに数多く客演を開始。1958年から1960年にかけてウィーンに留学。1960年N響の世界一周演奏旅行に同行、指揮者としてばかりでなく自作の「管弦楽のためのラプソディー」によって作曲家としてもその名をひろめた。その後1964年、66年、79年のN響海外公演を指揮、1979年にはN響正指揮者に就任した。1985年にはニューヨークで開催された国連40周年記念コンサートにN響とともに出演、全世界に放送された。国内では大阪フィル、京都市響、名古屋フィル、神奈川フィル、仙台フィルの要職を歴任。オペラ指揮の分野でも、その緻密な音楽作りが高く評価されている。これまでに作曲した作品はオペラ、交響曲から、室内楽曲、歌曲、合唱曲まで多岐にわたる。1963年第12回尾高賞、1981年第1回有馬賞、1983年第14回サントリー音楽賞、1999年文部大臣表彰、2000年第48回尾高賞、2010年度日本放送協会放送文化賞、2017年度渡邊暁雄音楽基金特別賞などを受賞。現在、NHK交響楽団正指揮者、大阪交響楽団名誉指揮者。http://www.yuzo-toyama.com/

山川あをい 作曲

愛知県立明和高等学校音楽科卒業。東京芸術大学音楽学部別科作曲専修を中退後、東京音楽大学作曲科卒業、同研究科修了。池野成、浦田健次郎、尾高惇忠、戸島美喜夫、野田暉行の各氏に師事。



猪俣 猛 特別客演

16歳でデビューし、20歳で上京。21歳でスイングジャーナル誌の新人賞に輝き、「渡辺晋とシックス・ジョーズ」を経て、名門「西條孝之介とウエストライナーズ」に参加し、後にリーダーとなって名声を轟かせる。前田憲男、荒川康男とのコンビもこの時期に生まれる。教育面での活動も盛んで、1976年にはドラムを通じて音楽の素晴らしさを教える「リズム・クリニック・センター(RCC)」を設立。1994年、「サンクス・トゥ・アメリカ」と題し、「ジャパン・ジャスト・ジャズ・オールスターズ」を率いてニューヨーク公演を行い、カーネギーホール、アポロシアターなどで大喝采を浴び、日本のジャズを高く評価された。1995年度、スイングジャーナル社より、ジャズ界で個人に与える最高の栄誉「南里文雄賞」を受賞する。1996年より、前田憲男氏を音楽監督にビッグバンド「THE KING」を結成。浜離宮朝日ホールに於いて朝日新聞社主催「キング・オブ・ジャズ-21世紀へ贈る」シリーズをプロデュースし、日本ジャズ史に残るコンサートを全20回に渡り行い貴重な映像を記録。2017年、文化庁長官表彰授与。わが国のモダンジャズドラマーの先駆者として、また、吹奏楽をはじめとするアマチュア音楽教育の面で、輝かしいキャリアの持ち主であり、国内外で注目を集めている。(株)アル・シー・シー代表取締役、NHK文化センター「猪俣猛ドラム教室」監修、ヤマハ契約モニター、ジルジャン契約モニター、ウィックファース契約モニターを務める。



鈴木 優子

4歳からピアノとバイオリンを、12歳からパーカッションを始める。東京芸術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。フライブルク音楽大学(ドイツ)ソリスト科修了。打楽器を有賀誠門氏、B.ヴルフ氏に師事する。ミュンヘン国際音楽コンクール打楽器部門入選。ダルムシュタット現代音楽講習会にてクラニヒシュタイン音楽賞受賞。主に現代音楽の分野で、ソロ、室内楽、オーケストラの演奏活動を行い、ドナウエッセンゲン音楽祭をはじめ数多くの音楽祭に参加。2008年よりケルン市立劇場、ハンブルク国立劇場の演劇作品に携わり、パーカッション、ピアノを演奏する。2015年より横浜に音楽教室を開設、後進の指導を行っている。



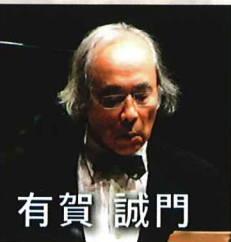
服部 恵

福岡出身。4歳よりピアノを、12歳より打楽器を始める。東京芸術大学卒業。1999年・2000年、福岡県高校文化連盟主催ソロコンテストにおいて、2年連続グランプリ受賞。2007年、ブルガリアで行われた打楽器国際コンクール Duo 部門において1位なしの2位を受賞。特別賞受賞。久石譲ピアノストーリーズコンサートツアー、NHK番組「The☆Star」の久石譲の特集にて共演、TV出演。2008年日本テレビ開局55年記念企画「アナウンサーコンチェルト」にて、音楽指導、TV出演。2010年にメキシコのチアパスにて行われたフェスティバル「MARIMBISTAS2010」に日本代表として、招待演奏。2012年イタリア国際打楽器コンクール Vibraphone 部門にて1位受賞。飛鳥II・Sun princesなど豪華客船の国内外クルーズに乗船、演奏披露。ももいろクローバーZなどのレコーディングに参加。さまざまなアーティストのCD、テレビ番組の音楽、映画などのレコーディングに参加。フリーパーカッショニストとしてクラシック・Jazz・Pops・ラテンなどジャンルを問わず活動中。最近ではVibraphone奏者としても活動の場を広げている。布施明55周年ツアーの演奏メンバー。ホームページ：<http://percussion-meg.jimdo.com/> Twitter：megpermeg



竹内 将也

打楽器奏者。「UP 感覚」上の発想・下の発想」を提唱するリズムスト有賀誠門に師事。東京芸術大学を卒業しエジプト・カイロ音楽院教授、東京芸術大学非常勤講師を歴任。カイロ音楽院打楽器アンサンブルを主宰してエジプト国内外に打楽器音楽を紹介。トルコ・イスタンブールで開かれた音楽祭・地中海沿岸諸国音楽学校会議ではエジプト代表として参加し大きな反響を呼んだ。カイロ、東京、仙台でリサイタル「パーカッションメッセージ」開催。ダンスや映像、デジタルメディアとのコラボレーションなどプロデュース活動多数。現在仙台フィルハーモニー管弦楽団首席ティンパニ奏者、宮城学院女子大学非常勤講師。モットーは「音楽の喜びから生活の喜びへ、そして人生の喜びへ！」



有賀 誠門

1937年生まれ。幼少よりViolinを父に習う。1954年関東吹奏楽連盟主催管打個人コンクール第一位。東京芸術大学卒業後、NHK交響楽団首席ティンパニストを務める。1960年Tokyo Percussion Ensembleを創立、新しい世界潮流の一翼を担う。来日したボストン交響楽団に魅せられ、1963年単身貨物船でアメリカ留学。Vie Firth氏に師事。Tanglewood、Boston、New Yorkでアメリカ最先端音楽に触れ、著名な音楽家たちと交流演奏を重ねUP感覚に目覚める。その違いを日常所作から読み解き「上の発想」を構築。東京芸術大学、東京音楽大学を礎とし、打楽器隆盛の一時代を築く。日本初の「ティンパニ演奏会」などで芸術祭優秀賞を3度受賞。ジャズ、ダンス、演劇、障がい者等とのコラボと、境のない活動を続ける。München、Luxembourg国際コンクール審査員。Tanglewood、Mongolia、Chapas音楽祭招待演奏。Freiburg、北京、Seoul、Cairo、London、Manchester、Chapasマスタークラス。Producer、Directorのキャリアも積む。心身統一合気道初段。One of the Legendary Timpanists。東京芸術大学名誉教授。

会場：旧東京音楽学校奏学堂 <https://www.taitocity.net/zaidan/sougakudou/>

主催：有賀誠門 UP Project

チケット受付メールアドレス：upproject20220603@gmail.com

チケット受付電話番号：090-3516-8951 (甲田)

